鶴岡市社会福祉協議会

まちい odagaisama

7月1日発行

んなで身体を

5月29日、住民参加型のスポーツ交流イベントが市内各地で開催され、温海地域でもさま ざまなイベントが催されました。まちづくりチームYUKAIと湯温海老人クラブ、社協職 員が協働で行った「あつみ温泉街をウォーキングしながらゴミ拾い」では小雨が降る中60 名が参加し、銀行前の通りとかじか通り、旅館の前の通りと3班に分かれ約20分間という短 い間でしたが小学生から年配の方まで楽しみながら取り組むことが出来ました。

ご指導とご協力をお願い申し上げます。 全力を挙げて頑張る所存でありますので

会の役割であるものと確信しております。 のであり助け合いこそ我が社会福祉協議 を基本理念としており、誠に当を得たも 市民全ての方々の幸せのため誠心誠意

祉とあわせ市民の福祉向上のため積極的

に活動していると常に思っておりました

本会広報の表題「おだがいさま」の言葉

りある事業型の社会福祉協議会で地域福

鶴岡市社会福祉協議会は全国的にも誇

感謝を申し上げます。 長を引き継ぐこととなりました。まずも の後任として理事会において選任され会 六月六日付をもって前会長の富樫毅氏 前会長の功績に対し心より敬意と

鶴岡市社会福祉協議会

会長

難

波

玉

記

会長 新任のあいさつ

事業報告および決算報 平成24年度

厳しい経済・雇用情勢が続くなか、生活困窮世帯の増加、人口減少と少子高齢化の進展、地域コ ミュニティの希薄化などにより様々な生活・福祉課題等が増加し複雑化してきています。社協とし ては、これらの課題にできるだけ柔軟に迅速に対応することを心がけ、中核事業である地域福祉の 推進について、各種事業に取り組むことができました。

また、「地域福祉活動計画」、「社協発展・強化計画」、「事業経営計画」の3つの計画を連動させな

がら、それぞれ2年次目、3年次目として確実な実施・検討を行い進行管理に努めました。

とが出来ました。 関係機関などと連携

法人後見事業の 相談支援では、

実

に向

it

7

や

検討を重

一ねるこ 行政

が

できました。

平

成 施

- 五年

度

か

した。

きながら活動を継続することが出 め多くの市民の皆さまの協力を

体制 目的 た迅速な対応、 訪問介護事業では、 増進に努めました。 の見直しを行うことができました。 に 従来の + 五事業所を ビ ス 。 の

質

0

度

から

新たに

くし

びき西部保育

しびき南部保育園

の運営を開

つ

にす 確保

始 と

ご滑な保育所運営に努めまし

ズに合わ

せ

保育所運営事業では、

平

成

干

应 袁

年

機能を果たすことが

できま

た。

終わり、平成 機能訓練に ス提供時間を延長することにより個 (調に計画を進めることができまし 豊浦地区多機能施設 施設建設用地の購入や造成 所介護事業では全事業所がサ 力を入れ利用者の 一十五年度の着工に向け (仮称)につ 健 康維持 事等も 别

児 福 祉 事

を通 きる子育 護者にとっても気軽 心な遊びの場を提供するとともに、 の健全育成を図りました。 ボ 各施設では、 ラン 関係機関とも連携 ティアや地元の方々との ての仲間づくり 子どもたちに安全で に育児相談等が の場として ながら児 交流 保 0 で 安

童

造 が し 者 福 祉 事業

個別支援に心がけ社会参加 障が (V 者福祉事業では、 0 促進を図

藤島地域

を指定し

し事業を推進

しました。

行政、

ボラン

ティア登録者をは

13

ただ

日本大震災に関連する支援事業で

おだが

いさまネッ

ト活動_

で

は 区

モ

抴

域

福

祉

業

ル

地域として鶴岡

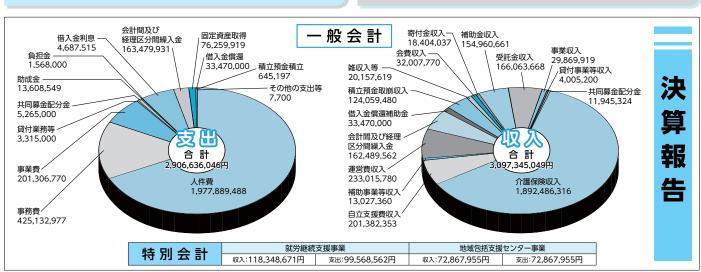
地域(三瀬

地

لح

移動支援 実 0 に対応することができまし 利用希望を伸ば ま ることが出来ました。 充実や生きが 訪問介護事業では、 就労継続支援事業では、 もみじが丘」 工賃アッ が増え、 プに 61 ともに就労内容も 障 づくりに繋げること がい 同性介護 繋がりました。 男性 者の 余暇活 かたぐる 0 ル パ ま ズ 充

各施設とも、



ふくしの総合相談器ロガスタート

~相談しやすく 住みよいまちへ~

鶴岡市では、平成23年3月に策定した地域福祉計画の中で、個人・家族のニーズと地域の変化に対応した地域ケア体制とサービスの変化を重点課題の一つとしています。その取り組みの一環として、保健・福祉・介護の総合的な相談が受けられるサービス(「地域保健福祉センター」機能)が、温海地域で5月7日からスタートしましたのでご紹介します。



「地域保健福祉センター」機能では、地域住民に身近なところで、介護や障がい児・者の自立生活支援、子育て、家庭問題などの相談やサービスの提供に応じることができるようになります。これにより、多様な支援を必要とする方が、複数の窓用が足りる総合的な相談支援のつくことなく、一か所で用すが足りる総合的な相談支援がりるようになります(ワンストップサービス)。

各地域庁舎の先駆けとしてスタートした温海地域では、「鶴岡市社会福祉協議会温海福祉セ

ンター(以下、温海福祉センター)」と「鶴岡市社会福祉協議会地域包括支援センターあつみ支所(以下、包括支援センター)」が庁舎2階の市民福祉課のフロアに事務所を移し、行政職員と市社協職員が一緒に来談者対応できるようになりました。

☆市民福祉課と包括支援センターによる対応

(例) 庁舎内で介護保険申請を行い、その場で具体的な介護支援・サービスの相談を受けられるようになった。

☆市民福祉課と温海福祉センターによる対応

(例) 生活保護の相談に来たが該当せず、生活福祉資金の説明を受け申請の手続きを行った。

☆市民福祉課と包括支援センターと温海福祉センターによる対応

(例) 虐待の疑いの相談があり、ただちに実態調査が行われた。

「地域保健福祉センター」機能は、要介護者など相談のあった本人だけではなく、家族全体を支えるという視点で支援を行うことを目指しています。温海福祉センターでは、こうした支えが必要な人・家族の生活課題を、自分たちの地域の問題として受け止め、これからも住民の方々と一緒に「おだがいさまのまちづくり」をすすめていきます。

3 まだがれさま

●情報掲示板

「ふれあい福祉相談」のご案内

●職員対応常設相談

月~金曜日(祝日は除く) 午前8時30分~午後5時15分 各福祉センター

●巡回弁護士相談(無料・要予約)

7月17日(水)

午前10時~午後3時 藤島福祉センター 8月21日(水)

午前10時~午後3時 羽黒福祉センター

●問合せ先 各福祉センター(ページ下段に記載)

「障がい者ふれあいサロン」のご案内

●開催日

7月21日(日) · 8月18日(日) · 9月22日(日) · 11月17日(日) · 3月16(日)

●開催時間

午前11時~午後3時

●会 場

鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるま 軽運動ホール (鶴岡市ほなみ町3-2)

●内 容

レクリエーション・会食・お茶・軽スポーツ

●参加対象

障がいのある方(ご家族や友人等の同行者も可)

●参加費

300円 (昼食代として)

●申込み・問合せ先

開催日一週間前までに申し込みください。 鶴岡市身体障害者福祉団体連合会

サロン担当 佐藤満子 ☎·FAX 24-0412

平成25年度 鶴岡市子育て広場まんまルーム講座

鶴岡市子育て広場まんまルームでは、下記の日程で 子育てにかかわる講座を行います。

※各講座とも10時30分から11時までです。

※ 日 時性に 0 10时 30 7 7 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
月日	講座内容	講師
7月19日(金)	離乳食の進め方 卒乳どうしてますか?	市 保育士さん
8月30日(金)	ジブンデジブンデ 自己主張を大切に	鶴岡市立保育園 園長
9月20日(金)	絵本の楽しさを	石田 幸さん
10月25日(金)	ベビーマッサージ	上野 和佳さん
11月15日(金)	どんなときにどう 叱る?	鶴岡市立保育園 園長
12月6日(金)	抱っこ・おんぶ・ 添い寝のすすめ	中央児童館 館長
1月17日(金)	トイレ・トレーニング	鶴岡市立保育園 園長
2月21日(金)	楽しく食事してま すか?	鶴岡市立保育園 園長
3月14日(金)	手軽にできる親子 のふれあい遊び	地域子育て支援センター

※講座内容や講師が変更になる場合もありますので、市広 報や毎月の"まんまだより"等でご確認ください。

※まんまルームでは、ベビーシート(1才位、10kgまで使用可) を貸し出しております。

出産前に予約もできます。詳しいことはお電話でお問合 せください(状況によってはご希望に添えないこともあ ります。予めご了承ください)。

●問合せ先

鶴岡市子育て広場まんまルーム 鶴岡市末広町3-1マリカ東館3階

☎·FAX 24-5635

鶴岡手をつなぐ親の会・かたぐるま合同

お気軽にお越しください

7月20日(土) 午後4時30分から7時 鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるま

(鶴岡市ほなみ町3-2)

●内 容

●会

ステージアトラクション、模擬店

●問合せ先

かたぐるま ☎28-3136 (担当:松浦)

(90) ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志により心より御礼申し上げます (平成25年4月11日から平成25年6月11日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センター

·阿部 恵子 様 タオル52枚

· 鶴岡市脳卒中患者会 甦友会 様 ·阿毛 稔 様 10,000円

・羽黒町ラングラウフスキー愛好会 様

· 鶴岡建設株式会社 様

· 鶴岡室内合奏団 様

★くしびき保育園へ

· 王祗建設株式会社 様 パタパタプール/イーゼル式お知らせボード

752円 ★老人デイサービスセンターふれあいへ ・戸田 由美子 様 ウイルスブロッカー50ケ

★デイサービスセンターおおやまへ

100,000円 · 伊藤 豊 様 タンス他一式

★温海デイサービスセンター愛寿園へ · 伊藤 實 様 30.000円 · 温海地区婦人会 様 タオル200枚

★児童福祉部門へ

150,000円 ・国際ソロプチミスト鶴岡 様

★東日本大震災の避難者支援へ (特別指定寄附)

・高橋 照子 様

台所用スポンジ60ケ、タオル・布巾セット15組、他

·鶴岡野球連盟 様

少年軟式野球グラブ 150,000円相当

★あおば学園へ(特別指定寄附)

・ヤマックス建材株式会社 様 50.850円

★さくらが丘へ(特別指定寄附)

100.000円 ・プロショップヤマザキ株式会社 様 56,020円

おだがいさま

第47号

◎羽黒福祉センター



編集・発行

189,000円

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会 鶴岡市泉町5番30号(にこ♥ふる2階) TEL 24-0053 FAX 23-9110

ホームページ http://www.shk01.jp/

鶴岡福祉センター TEL 24-0053 藤島福祉センター **TEL 64-3100** 羽黒福祉センター **TEL 62-4534** 櫛引福祉センター **TEL 57-5300** 朝日福祉センター TEL 53-2795 温海福祉センター TEL 43-2114



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。